



NOBEOKA
ART EXHIBITION

市 73rd
美展

いちばん近いアート展

入賞・入選
目 録

特 選

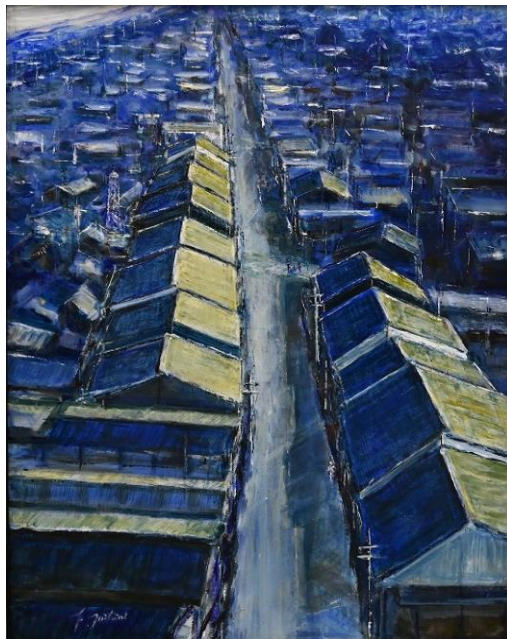
延岡市長賞

美々津(油彩)

三谷文男

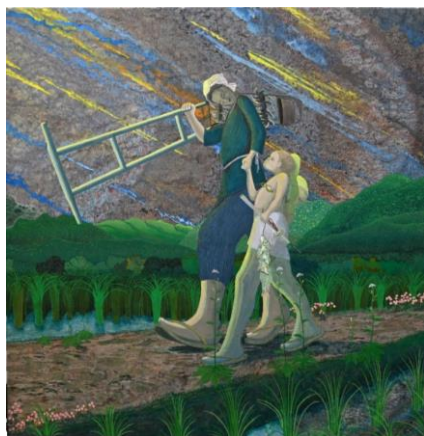
講 評

秀作を完成された実感があるのではないのでしょうか？青を基調とした大胆な縦構図を力技でまとめられています。油絵らしい表現で心地よく画面を作られているところからも、作者の確かな力量と経験値の高さが感じ取れます。



準特選

延岡市教育長賞



「思い出の母と・・・」(IV)(アクリル)

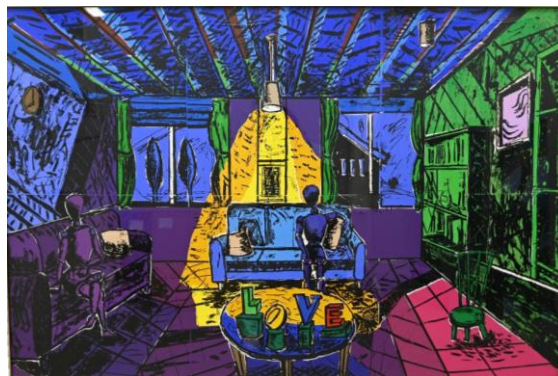
田口伸一

講 評

こだわりの画面肌に魅入りました。一見、草木の緑が安易に見えたのですが、空の色彩が良い繋ぎとなり低彩度の画面との響き合いを生み出しています。素朴さとノスタルジックが混ざり合う心地の良さがあります。

準特選

延岡市文化連盟会長賞



「LOVE」のある部屋(版画)

藤本恵三

講 評

高いレベルで技法と表現のバランスがとれた作品だと思います。このスタイルにおける達成感を感じ取っているのではないのでしょうか？高度で安定した画面の組み立ては安心して鑑賞できます。



絵画部門審査員

大泉 佳広 (初)
宮崎大学教育学部 准教授

入賞作品

無鑑査

奨励賞

眞田昌良

震災後も、この大地で生きる(水彩)

延岡市議会議員賞

米良俊男

行藤幻想(アクリル)

奨励賞

市原哲郎

ふるさとの湿原の踊り(水彩)

夕刊デイリー新聞社賞

奨励賞

アーナー恵子

大地の記憶(ミクストメディア)

延岡観光協会賞

努力賞

白石幸代

早春の祝子川(油彩)

プラチナ賞

窪田利重

天のかわ(油彩)

入選者

池田見一	のべおか城跡・天女が舞う	油彩
今村光子	五ヶ瀬川より望む千支大橋	油彩
上山晴久	樟の刻	油彩
大山久雄	中岳俯瞰	油彩
甲斐トシ子	農婦	アクリル
甲斐幸信	島野浦の漁港	水彩
川内寧彦	碧い静寂	水彩
岸上里帆	母と猫	油彩
木村マシ子	明日への祈り	油彩
久保ケイ子	秋到来	油彩
佐藤義和	古旅館	デッサン
高萩泰	We can be happy ～私たちは幸せになれる～	アクリル
高山好二	祝子川清流と鴨	水彩
戸高秀喜	春霞	日本画
中城廣美	秋の風	油彩
長沼弘三郎	青山常運歩	油彩
日高すみ子	鐘の音鳴り響く	油彩

福島千明	赤龍	パステル アクリル
南義信	アトラス山脈と赤い大地 (モロッコ)	パステル
宮井久美子	溪谷の鼓動	水彩
矢野環	KAGAMIYAMA	水彩
山内登紀子	月明り	日本画
横山優	懐しい三輪水源地	油彩
吉田千代子	梅雨間近	アクリル
陸丸敦子	春が来たよ～	油彩



彫刻・工芸部門



特 選

延岡市長賞

カラー(友禅染)

田上多津美



講 評

カラーの花を細部までしっかりと観察し、友禅染の確かな技法で優雅に表現された秀作です。オリジナルデザインのワンピースの上でカラーの花時の爽やかな風が吹いています。

準特選

延岡市文化連盟会長賞

六目菊大盛りカゴ(竹細工)

秋本富美子



講 評

竹ヒゴの色の使い分けで底面の六目菊文様に華やぎが出ました。また直径70cm近い大作ながら、きっちりと真円に編み上げた技術の高さを称賛します。



彫刻・工芸部門審査員

辻嶋 寿憲 (5回目)
九州産業大学造形短期大学部教授

入賞作品

無鑑査

奨励賞

延岡市議会議長賞

中野小百合

西新宿[かんざし](彫金)

中村有子

金彩幾何紋六角柱器「連」(陶芸)

奨励賞

延岡市医師会長賞

壺岐陽子

秋明菊(友禅染)

原辰義

静穏(剪画)

奨励賞

延岡市美術展覧会実行委員長賞

甲斐富士子

ホタルの乱舞(陶芸)

芝行則

あつい夏(彫刻)

努力賞

高橋ユキミ

私の住みたい村(パッチワーク)

甲斐卓雄

黒雲龍(彫刻)

プラチナ賞

関武司

渦潮(陶芸)

甲斐卓雄

水辺にまどろむ(彫刻)

甲斐卓雄

旅立ちの時(彫刻)

◆ 入選者

伊作とよ子
石川ハル子
上村洋子
鶴城楓
岡田洋子
甲斐富美子
川崎えつ子
工藤武人
高田裕満
高吉照美
谷口加代子
堤和子
中村裕子
西村綾香
温水輝子
野間啓子
花野心菜
松田美智子
森福子
森本盛生

自然の森
はやぶさ2の旅
平和サミット
藍莓
新緑の上高地
風のガーデン
秋麗
多輪挿し大皿
希望
シャンパンな夜に乾杯
真夜中の藍色のオーブ
ウェルカム・ハッピー
丘猫(おかあにゃん)とかくれんぼ
metamorphosis
砂漠の楽園
フルーツもりもり(押し花 押しフルーツ)
鮮美
ピアノ協奏曲 出逢い
つわぶきの唄
アマビエ(疫病退散・くたばれDS)

パッチワーク
パッチワーク
陶芸
ろうけつ染め
ちぎり絵
パッチワーク
刺繍
陶芸
陶芸
陶芸
陶芸
パッチワーク
陶芸
ろうけつ染め
パッチワーク
押し花
陶芸
パッチワーク
ちぎり絵
彫刻

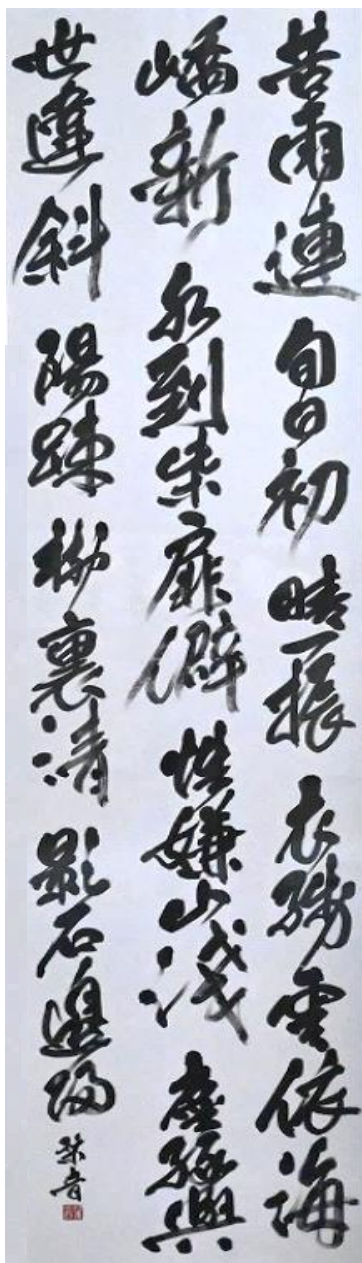
書道部門

特 選

延岡市長賞

晩晴

松田栞音



講 評

明清調の行草体で力強く且つ流麗な筆捌きでまとめている。二文字、三文字の文字群を巧みに配し、疎密の間の取り方が抜群であり、線質にも沈着味がある。

準特選

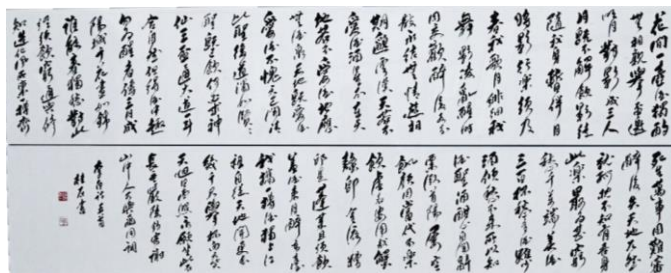
宮崎県知事賞

李白詩 五首

植野洋一(桂石)

講 評

何紹基をベースに軽妙なタッチで上品に仕上げている。多字数を一貫した調子で書き切った手腕見事。余白が生きており、樂趣に富んでいる。



準特選

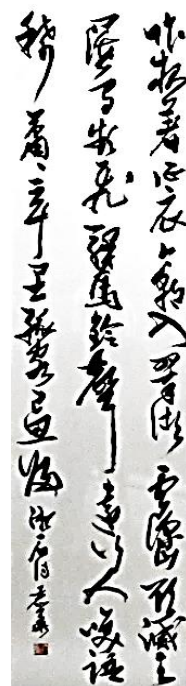
延岡市教育長賞

函山雑詠(漱石漢詩)

小野静(麗華)

講 評

張端図を採り入れて、自家葉籠中の物としている。鋒先の開閉、疎密の変化、伸びやかな線條など巧緻な腕前が光って格調豊かである。



書道部門審査員

岩切 天掃 (初)

宮崎県書道協会顧問、日展会友

公益財団法人 宮崎県芸術文化協会会長

入賞作品

無鑑査・招待作家

奨励賞 上野和子(和風) 君がため

旭化成(株) 延岡支社長賞

尾崎真人(宝舟) 禅語

奨励賞 西田登美子(美風) 夜争

延岡商工会議所会頭賞

城戸雅子(富翠) 王漁洋詩

奨励賞 渡邊明日奈(華嵐) 劉希夷詩

延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞

西村亜希子(一華) 錢塘觀潮

努力賞 時任愛菜 江南旅情

大塚洋子(葉風) 王維詩 四首

プラチナ賞 甲斐タヅ子(柏苑) 水南晩眺

原田さゆり(桑峰) 解組歸隨園外 一首

山浦秀子(柏秀) 秋夜獨坐外 一首

西村寿洋(玄洋) 雨篷

入選者

飯干朗(千峰) 富陽より竜游に至る
 入山万優 臨 中務集
 上杉秀子(秀香) 舟過孟城
 植野識 臨 香紙切
 植野幸雄(竹山) 吳蘭雪詩
 牛迫孝子(春香) 高青邱詩
 尾池綾美(秀美) 春日江村. 五首
 岡村公子(瑛翠) 枕上
 甲斐かおり(香風) 過落花村寄姚水部梓嵐
 甲斐睦子(柏葉) 日暮れの楼台
 甲斐洋子(春宵) 高明詩
 河内真弓(柏真) 錢助教
 城戸裕行(鳳翔) 貽華陽柳少府
 熊谷菜穂子(芳苑) 岳陽樓
 興梠ふみ(史翠) 富士が嶺や
 小坂千代子(千草) 陳 宗之詩
 篠原和子(和葉) 晝夢

田口智子(春汀) 玉藻刈る
 西田幸市(天外) 高青邱詩
 平野優子(佳芳) 爛溪訪周公美不值
 山内美智子(英智) 西湖酔中謾書
 山口美津子(空苑) 安分
 山田徳一(徳齋) 臺頭寺雨中送李邦道赴史館(蘇軾)
 山本加代(濤香) 題謝廷循山水
 渡邊康子(翔香) 自丹陽放舟赴江陰道中作

写真部門

特 選
延岡市長賞



祭りの少年

前田徳子

講 祭写真は熱気ある場面とか祭人を狙った作品が多いが、この作品は神
評 輿送中に子供さんが放水する珍しい場面を捉えました。作者は予測し
て狙ったのか分かりませんが一瞬のシャッターチャンスにより微笑ましい
祭り写真になりました。

準特選

宮崎県教育長賞

曙光に煌く
田中芳典



講 鉄道写真は人気のある被写体分野ですがこの作品は早朝
評 雲海の出た山を背景に輝く電車を組み合わせ見事な作
品になりました。撮影場所の選び方、撮影時期など作者は
被写体に対しての作画計算が見事で何回も通って出
来た力作だと思います。

準特選

延岡市教育長賞

女神と妖精たち
白谷俊一



講 ホタルの作品は出品が多く全て力作です、しかし定番写真が多
評 い。
この作品はモデルを配してホタルと組み合わせた斬新な作品とし
て評価しました。
ホタルの乱舞する場所に対して花火のモデルを組み合わせた作
者の作品制作のアイデアは見事です。



写真部門審査員

蜂須賀 秀紀 (3回目)
二科会写真部名誉会員

入賞作品

準特選

延岡市文化連盟会長賞

鬼の窟古墳に巨大猫出現

武田佐和子



講評 延岡市展の審査は全紙サイズなど大きなプリントの審査ですので大伸した時に見応えある作品にすることが大切です。見事な雲に対して小さく人物を配しスケールの大きな風景写真にした作画が大変上手く撮影場所の選び方も良かったと思います。

準特選

延岡市文化連盟会長賞

元気ばあちゃん

松尾香代子



講評 作品作りは被写体の持つ魅力により左右されますがこの作品は被写体が良い。モデルの女性の表情とタケノコを制く(むく)手先迄注意して、作業する場面を上手く作画しています。無駄のない画面作りであり応募作品の中で目立つ事は作者の作品作りの上手さと思います。

入賞作品

奨励賞

大山義広

森のハーモニー

延岡市医師会長賞

奨励賞

菊池貢

飛翔

宮崎日日新聞社賞

奨励賞

外山峯子

ラガーマン

JAみやざき延岡地区本部長賞

奨励賞

島田眞由美

獅子舞

センコー（株）延岡支店長賞

奨励賞

千葉雄一

路地

延岡市歯科医師会長賞

奨励賞

こい太郎のお父さん(甲斐孝一) 蛭たちの出会い

ケーブルメディアワイワイ賞

奨励賞

笠村陽一

終幕

延岡市美術展覧会実行委員長賞

奨励賞

後藤雅之

クライマックス

延岡市美術展覧会実行委員長賞

努力賞

高萩和夫

巢材くわえるクマタカ

プラチナ賞

川端章

海に生きる

無鑑査

高橋ミサ子

まつりの日

後藤司郎

愛犬

甲斐靖一

どくだみ草に蛭

甲斐直志

岩峰に煌めく

いちばん近いアート展



◆ 入選者

赤池泰男
芥美奈子
浅井亜由美
飯田かおり
家森忠雄
伊東英一
井上政範
植野浩人
宇都宮一公
胡元一夫
大川内かつ子
太田尾富夫
大津由吏江
大山久雄
荻原裕史
押方徹
甲斐啓一
甲斐元彦
甲斐桃華
亀居英幸
川越洋治
古谷信行
後藤純子
後藤秀彦
小松清春
酒井佳紀
佐藤卓志
澤由美子
鋤本勝晃
杉本武揚
雀ヶ野秀憲
多田綾子
戸高 一
富山隆志
中島えり子
中島拓三
長友あけみ
長友道生
那須重人
新名光子

花芯の彩
清流に乱舞
楽しかったあの日の思い出
ずっと一緒
陽気なおばちゃん
神楽舞
熱演
ザ・ガードワン
水先案内人
春の光をうけて
里山と棚田
渡り鳥(ジョウビタキ)
惜しむ春
氷の貴公子
戯れ
宮神楽
紫陽花の咲く頃
ブルー・フォールズ
とどけ
躍動
羅平棚田の純朴な子供達
白熱の柴引き
初めてのお化粧
朝の序章
溪谷の乱舞
流れに立つ
フェイス
砂の妖精
化身
COLORS
秋彩
うたかた
綱ノ瀬の夜
一瞬の春
水面の彩
神の舞
光の絨毯
夕映えの二人
ひと時の黄昏
夜神楽

浜砂昭
福川原敏憲
福良千鶴子
藤田一明
堀田宗範
松木喜美子
宮崎金男
宮本哲伸
村上保予
山田悦子

影絵
静寂
嬉し、悲し
花に魅かれて
ななつ星in九州”出発の鐘”
湯たて神事
幽玄
夜の鮎ヤナ場
Love
旅路の果て

デザイン部門
特選
延岡市長賞



エンニシング オブ ザ ワールド(イラストレーション)
山本颯太

講評 イラストによる表現力のすばらしい作品です。妖怪やかわいいアニメ風キャラクターや近未来的なロボット、ありそうで非現実的、明るく楽しい様子や不気味で不安な感じ等、いろいろ相反するイメージが混在しつつも不思議にまとまっているのは、独特で非常に繊細なタッチと色彩センスのすばらしさでしょう。圧巻の大作です。今後のご活躍を楽しみにしています

入賞作品

無鑑査

奨励賞	館山幸雄	PEACE OF EARTH(グラフィックデザイン)	木田 柊子	新しいものの図鑑(グラフィックデザイン)
旭化成(株) 延岡支社長賞				
努力賞	丸山雄太郎	作りすぎてないですか?(グラフィックデザイン)		

◆ 入選者

梶川天音	そこにAIはありますか?(グラフィックデザイン)	古川友江	Kings' Book 王たちの本(グラフィックデザイン)
河野巴里菜	こんなお客様今増えています(グラフィックデザイン)	山口晃佳	再入荷、2億年後(グラフィックデザイン)
菊池史隆	言葉(グラフィックデザイン)	米倉和花	助けてを言えない少年兵(グラフィックデザイン)
賤前洋子	祈(グラフィックデザイン/コラージュ)		
堺涼夏	それでも森林伐採(ゲーム)を続けますか?(グラフィックデザイン)		
高田真奈	美海を夢みる にんぎょひめ(グラフィックデザイン)		



デザイン部門審査員

龍 由美子 (4回目)
久留米連合文化会デザイン部副部長
元大川市立清力美術館館長

審査講評

【絵画部門】

講評

私は創作するだけならパッション(情熱)さえあれば良いと考えています。たとえ自己満足の作品でも、十分にパッションが注ぎ込まれていればアトリエの中や自分の部屋では宝物になることができるでしょう。しかし、作品をアトリエから引っ張り出し、評価を求め他人に審査される場に持ち込んだからには、表現者としての姿勢と能力が必要とされます。ただの独善的な創作者では良質なアーティストにはなる事はいけないという考えです。

今回、私は上記の考えの基、絵画部門の審査をおこないました。「芸術は感情を持った人間によるコミュニケーションである以上、情報の発信者である画家は画面に注ぎ込まれた自分のパッションが他者に伝わるように最善を尽くさなくては行けない」を判断の基準にしました。私自身、今回、皆さんの作品と情熱を持って向かい合ったつもりです。そして審査結果が私の芸術観を表現したものとなります。自身の最善を尽くした気持ちでいますが、力及ばずの所があればご容赦願います。今回の審査において、まず、何を描いていたとしても、どんなテーマでも、たとえ技術的に未熟でも、作品からパッションが感じ取れれば第一段階クリアとしました。あえて言うなら、「何を主役にしたのか、何を主張しているのかわからない」「テーマが上滑りしている」「制作自体を楽しんでいると思えない」と感じた作品を低評価としました。第二段階として、自分の表現にどれだけこだわりを持っているかに注目しました。技術的に高くても情熱と繋がっていないかったり、変わった素材や技法を取り入れても扱いが雑だと感じたものは、賞候補にはしませんでした。受賞された作品は、それぞれ方向性はあるものの、熱量・こだわり・技量から作者の芸術家としての矜持を感じました。そして賞の順位づけはその総量とマリアージュ度合いを私の主観で表現したものとなります。私の芸術観が皆様に伝わることを祈っています。

特選

(三谷氏)

秀作を完成された実感があるのではないのでしょうか？青を基調とした大胆な縦構図を力技でまとめられています。油絵らしい表現で心地よく画面を作られているところからも、作者の確かな力量と経験値の高さが感じ取れます。

準特選

(田口氏)

こだわりの画面肌に魅入りました。一見、草木の緑が安易に見えたのですが、空の色彩が良い繋ぎとなり低彩度の画面との響き合いを生み出しています。素朴さとノスタルジックが混ざり合う心地の良さがあります。

(藤本氏)

高いレベルで技法と表現のバランスがとれた作品だと思います。このスタイルにおける達成感を感じ取っているのではないのでしょうか？高度で安定した画面の組み立ては安心して鑑賞できます。

絵画部門審査員

大泉 佳広

宮崎大学教育学部 准教授



審査講評

【彫刻・工芸部門】

講評

私としましては、今回が5年ぶり5回目の審査となりました。最初に審査をお引き受けしてから十余年の歳月が過ぎましたが、彫刻 工芸部門は回を追うごとに全体の充実度が増しているように思えます。今回はまた、創造力に溢れた作品ばかりで、出品者のみなさんの制作にかける思いが、ひしひしと伝わってきました。このことは惜しくも選外となった 作品にも言えることです。

染織の分野では、友禅染とパッチワークの作品に技術の確かさと表現力とがうまく結び ついた優秀作が目立ちました。ローケツ染で 3点の出品があり、意欲的で力強い作風が見 え、2点入選としましたが表現の荒さが気になるところです。色面図形の構成と整美に気を配ってください。今回絵画的な表現の作品が多かったのですが技術や部分々々の表現は良好なのに全体の構成がまとまっていない作品が目立ちました。主役と脇役の関係をしっかりと出し、主題がはっきりと見える構図を心がけてください。

陶芸分野も例年多数の出品がありますが、今回は特に個性的でしっかりした表現の作品 が多く、分野全体の水準が一段高まったと思えます。

それでは、受賞作の中から、特選作と準特選作について少々述べさせていただきます。

特選 延岡市長賞 「カラー」

カラーの花を細部までしっかりと観察し、友禅染の確かな技法で優雅に表現された秀作です。オリジナルデザインのワンピースの上でカラーの花時の爽やかな風が吹いています。

準特選 延岡市文化連盟会長賞 「六目菊大盛りカゴ」

竹ヒゴの色の使い分けで底面の六目菊文様 に華やぎが出ました。また直径70cm近い大作ながら、きっちりと真円に編み上げた技術の高さを称賛します。



彫刻・工芸部門審査員

辻嶋 寿憲

九州産業大学造形短期大学部教授

審査講評
【書道部門】

講評

73回という伝統ある延岡市美術展の審査にお招きを戴き、光栄に存じます。

ここ延岡の地は書の先達を数多く輩出し、私の知る限りでもすぐに数名の方々のお名前が浮かんで参ります。いずれも書家としてあるいは書教育者として立派な業績を残された、尊敬すべき方々です。このような伝統ある土壌で育まれた多くの作品に接することができましたこと大変うれしく思います。

審査には次のような観点から当たらせて戴きました。作品を構成する上で重要な三要素―線・形・余白。その上で派生物に求められる大小・肥瘦・強弱・濃淡(潤渴)など。さらに素材である文字は一朝一夕に成ったものではなく、4000年という長い歴史の中で形成されたものである以上、作品にはやはり古典の味(香り)は欠かせません。そして何より、気韻生動しているということです。

特選(松田栞音)

明清調の行草体で力強く且つ流麗な筆捌きでまとめている。二文字、三文字の文字群を巧みに配し、疎密の間の取り方が抜群であり、線質にも沈着味がある。

準特選(植野洋一)

何紹基をベースに軽妙なタッチで上品に仕上げている。多字数を一貫した調子で書き切った手腕見事。余白が生きており、樂趣に富んでいる。

準特選(小野静)

張端図を採り入れて、自家薬籠中の物としている。鋒先の開閉、疎密の変化、伸びやかな線條など巧緻な腕前が光って格調豊かである。



書道部門審査員

岩切 天掃

宮崎県書道協会顧問、日展会友

公益財団法人 宮崎県芸術文化協会会長

審査講評

【写真部門】

講評

延岡市展の審査をさせて頂き、そして出品者と会場でのお話が出来た事は大変楽しい審査会でした。県展、市展の応募者は一年間の集大成としてその年の一番良いと思う作品を応募しますので入選、落選の差はありません。私の審査基準は被写体から何を表現するかがポイントですが今までよく発表されたテーマは評価が低くなります。又入賞作品は同一テーマが沢山入らない様になるべく色々な被写体の作品を評価致します。蛍の作品、砂浜作品、神楽舞の作品、特に神楽舞のぶらし作品は全て入賞レベルですが競合して入賞出来ませんでした。

最近の作品作りはレタッチ技術の進歩によりフィルム時代と作品制作が違ってきましたが作者不在にならない様に 個性的作品を発表して下さい。

特選・延岡市長賞 祭りの少年 前田徳子

祭写真は熱気ある場面とか祭人を狙った作品が多いが、この作品は神輿送中に子供さんが放水する珍しい場面を捉えました。作者は予測して狙ったのか分かりませんが一瞬のシャッターチャンスにより微笑ましい祭り写真になりました。

準特選・宮崎県教育長賞 曙光に煌く 田中芳典

鉄道写真は人気のある被写体分野ですがこの作品は早朝雲海の出た山を背景に輝く電車を組み合わせ見事な 作品になりました。撮影場所の選び方、撮影時期など作者は被写体に対しての作画計算が見事であり何回も通って出来た努力作と思います。

準特選・延岡市教育長賞 女神と妖精たち 白谷俊一

ホタルの作品は出品が多く全て努力作です、しかし定番写真が多い。
この作品はモデルを配してホタルと組み合わせた斬新な作品として評価しました。
ホタルの乱舞する場所に対して花火のモデルを組み合わせた作者の作品制作のアイデアは見事です。

準特選・延岡市文化連盟会長賞 鬼の窟古墳に巨大猫出現 武田佐和子

延岡市展の審査は全紙サイズなど大きなプリントの審査ですので大伸した時に見応えある作品にする事が大切です。見事な雲に対して小さく人物を配しスケールの大きな風景写真にした作画が大変上手く撮影場所の選び方も良かったと思います。

準特選・延岡市文化連盟会長賞 元氣ばあちゃん 松尾香代子

作品作りは被写体の持つ魅力により左右されますがこの作品は被写体が良い。
モデルの女性の表情とタケノコを制く(むく)手先迄注意して、作業する場面を上手く作画しています。
無駄のない画面作りであり応募作品の中で目立つ事は作者の作品作りの上手さと思います。



写真部門審査員

蜂須賀 秀紀
二科会写真部名誉会員

審査講評
【デザイン部門】

講評

昨年に引き続き審査させていただきましたが、今回全体的にレベルが非常に高く、他の美術展に引けをとらない秀作ばかりでした。また学生さんの出品が多く、デジタルより手描きの作品が多く、環境問題や平和、モラルなど危機意識を持ち、それぞれの視点での豊かな発想や表現力がすばらしかったです。

特選 延岡市長賞 山本颯太氏「エニッシング オブ ザ ワールド」
イラストによる表現力のすばらしい作品です。妖怪やかわいいアニメ風キャラクターや近未来的なロボット、ありそうで非現実的、明るく楽しい様子や不気味で不安な感じ等、いろいろ相反するイメージが混在しつつも不思議にまとまっているのは、独特で非常に繊細なタッチと色彩センスのすばらしさでしょう。圧巻の大作です。今後のご活躍を楽しみにしています。

奨励賞 旭化成(株)延岡支社長賞 舘山幸雄氏「PEACE OF EARTH」
鳥と地球の美しいイラストがひときわ目を引き、ピクトグラム風の禁止マークもわかりやすく効果的です。すっきりとしたレイアウトで思いがストレートに伝わる秀作です。

努力賞 丸山雄太郎氏「作りすぎてないですか？」
個性的なイラストのタッチや色遣い、文字の配置が面白いインパクトあふれる作品です。プラスチックによる海洋汚染を風刺したものと思われませんが、キャッチコピーは廃棄される食材にふれているよう。欲を言えばどちらかに焦点を絞ったら、よりアピール力が増したのではないかと思います。

無監査 木田栞子氏「新しいものの図鑑」
新種の危険生物として展示されているのはプラスチックゴミの生物。ドキッとさせる発想がおもしろい作品です。素材にプラのトレイやペットボトルキャップ、マスクなどを使用して現実感がありますが、赤や緑できれいに着色されたため、素材がわかりづらくなったところがもったいないと感じました。

他にも、筆文字と画像を加工し配置した完成度の高い作品、自販機で販売されている天然燃料が悲鳴をあげている作品、言葉という文字自体がずれるグラフィック表現で言葉のズレについて提言したもの、野生の猿が人間の不動産店で生きていくための物件を求めるというブラックユーモア的な作品など秀作揃いでした。今後も皆さまの柔軟で意欲的な作品づくりを大いに期待しています。



デザイン部門審査員

龍 由美子
久留米連合文化会デザイン部副部長
元大川市立清力美術館館長

■第73回延岡市美術展覧会 出品状況

部 門	出品者数			出品作品数			C 招待作家 無鑑査	合計 (無鑑査等含む)		展示作品数	
	A	うち2点 出品者	うち3点 出品者	一般	学生	B 小計		出品者数 A+C	作品数 B+C*	入賞 +入選数	無鑑査等を 加えた展示数
絵 画	44 人	9 人	0 人	51 点	2 点	53 点	1 人	45 人	54 点	33 点	34 点
彫刻 工芸	36 人	4 人	1 人	37 点	5 点	42 点	4 人	40 人	48 点	27 点	33 点
デザイン	16 人	0 人	0 人	5 点	11 点	16 点	1 人	17 人	17 点	12 点	13 点
書 道	44 人	1 人	0 人	36 点	9 点	45 点	7 人	51 人	52 点	33 点	40 点
写 真	87 人	34 人	1 人	123 点	0 点	123 点	4 人	91 人	127 点	65 点	69 点
合 計	227 人	48 人	2 人	252 点	27 点	279 点	17 人	244 人	298 点	170 点	189 点

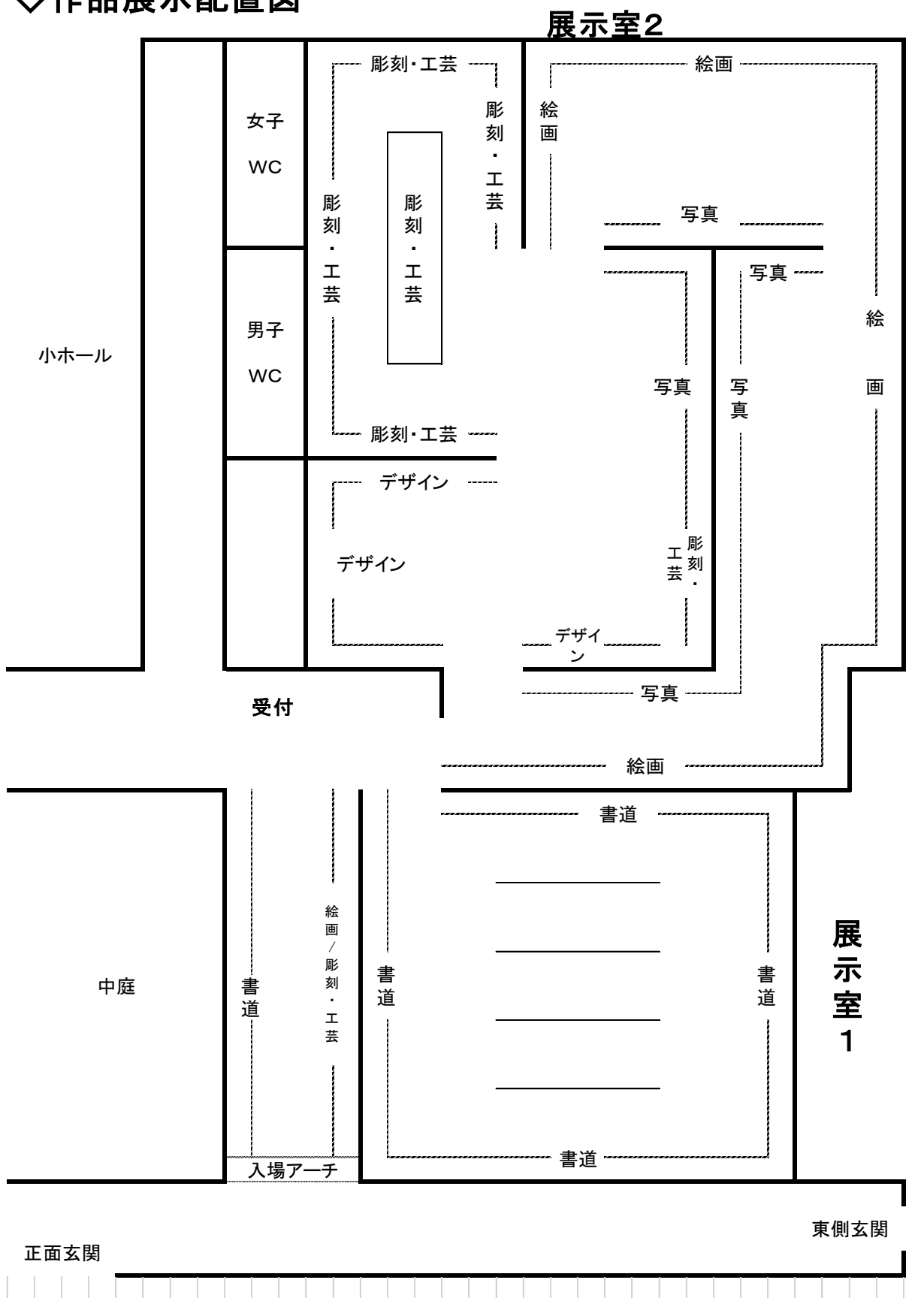
* 無鑑査より複数点出品者あり

- ◆招待作家 全国規模の公募展で、顕著な成績を残された方
- ◆無 鑑 査 延岡市美術展覧会の第25回展（改組第1回：昭和50年度）から起算して、「特選」（延岡市長賞）および、周年記念の大賞、特別賞を通算3回受賞された方

■第73回延岡市美術展覧会 賞の名称一覧

特 選	延岡市長賞
準特選	宮崎県知事賞 宮崎県教育長賞 延岡市教育長賞 延岡市文化連盟会長賞
奨励賞	延岡市議会議長賞 旭化成(株)延岡支社長賞 ケーブルメディアワイワイ賞 センコー(株)延岡支店長賞 延岡観光協会賞 延岡市医師会長賞 延岡市歯科医師会長賞 延岡商工会議所会頭賞 延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞 JAみやざき延岡地区本部長賞 宮崎日日新聞社賞 夕刊デイリー新聞社賞 延岡市美術展覧会実行委員長賞 (順不同)
努力賞	※本市美展または他の美術展等での入賞歴は問いません。
プラチナ賞	※満80歳以上の方を対象とし、入賞歴は問いません。

◇作品展示配置図



■審査講評のようす



出品者のみなさまへ
この度はご出品いただきありがとうございました。
次回も力作のご出品を心よりお待ちしております。

延岡市美術展覧会実行委員会 一同

第73回延岡市美術展覧会

会 期 : 令和6年7月11日(木)～7月27日(土) 10:00～16:00
会 場 : 延岡総合文化センター 展示室1・2 ※毎週火曜は休館日です
主 催 : 延岡市美術展覧会実行委員会、延岡市、延岡市教育委員会、延岡市文化連盟
協賛・後援 : 宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市議会、旭化成(株)延岡支社
(株)ケーブルメディアワイワイ、センコー(株)延岡支店、(一社)延岡観光協会
(一社)延岡市医師会、(一社)延岡市歯科医師会、延岡商工会議所、(一社)延岡市西臼杵郡薬剤師会
宮崎県農業協同組合延岡地区本部、宮崎日日新聞社、夕刊デイリー新聞社
(順不同)
